

平成 27 年 4 月 27 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢  
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)  
問合せ先 開示担当 横山 幸弘  
(TEL 03 - 6225 - 2207)

## GROUP LEASE 社の株主総会についてお知らせ

当社グループでタイ王国にてオートバイファイナンスを展開し、2004 年よりタイ証券取引所 1 部に上場しております Group Lease PCL (以下 GL) は、平成 27 年 4 月 27 日、定時株主総会を開催いたしました。同社取締役会の提案いたしました全議案が承認されました。

同社はすでに 30 年以上ファイナンス事業をタイで行っておりましたが、2012 年からカンボジアに進出して ASEAN 全域展開を進めております。また新車オートバイリースに特化した業態から、現在では農機具や中古車バイク、オートバイ担保金融など多数の新分野に進出しております。これらにより、タイ国オートバイファイナンス企業から ASEAN 全域ファイナンス企業へと脱皮し、急速に業績を伸張させております。

株主総会においては配当支払いのほか、すでに 3 月 9 日に皆様に「当社子会社の Group Lease PCL 成長資金調達について」でお知らせいたしております Convertible Bond が正式に承認されました。これにより GL 社はさらに ASEAN 全域展開を目指しての事業拡大や M&A などの資金調達面における柔軟性を格段に増しております。

開示の紹介 [http://www.wedge-hd.com/cms\\_v2/assets/files/NEWS/2015/p20150309.pdf](http://www.wedge-hd.com/cms_v2/assets/files/NEWS/2015/p20150309.pdf)

主な質疑応答は以下のようになっております。

質問 CB にするのではなく、単純な債券を発行し、その分現在の株主に対して株主割り当ての新株予約権 GL-W4 を発行することはできないのか？

回答 今回の CB 発行は ASEAN での事業展開のために実行するものです。また過去新株予約権や通常の借入れをタイ国内で行ってきましたが全てパーツでの資金獲得になっていました。現在では当社グループはタイ国外で多くの積極的な事業展開を行っております。これらの事実から、J-Trust グループへの CB 発行を選んだ理由は①同社グループは韓国・インドネシアで銀行を買収するなど今後の ASEAN 全域展開におけるパートナーとして期待しているからです。②また現在当社事業が急速に拡大しているカンボジアにおいては US ドルが使われており、今後 ASEAN の各地での各国通貨での事業展開を考えても、今回タイ国外で通用する US ドルでの資金獲得が適切だからです。

このように今回の CB 発行は当社グループの ASEAN 全域展開にとって最適だと考えております。

質問 海外に子会社があるのであれば、なぜ海外子会社がCBの発行者にならないのか？

回答 当社自身が上場企業であり、当社グループの中で当社自身が発行者にすることが最も有利だからです。また親会社としてまた持ち株会社として資金を子会社に貸し付けるのは当社の本業でもあります。

質問 当該CB発行後の海外特にカンボジアでの事業の売上や利益はどのようになるのかを説明してほしい。

回答 すでにGLはタイだけのオートバイファイナンス会社ではありません。カンボジアの事業はすでに拡大しており、ラオスでの事業もすぐに開始いたします。したがって、タイGL自体は当社グループ全体のごく一部に過ぎない 때가近い将来訪れます。われわれとしましては今後ともこのASEAN地域に投資をし続けることが最大のチャンスでGL社にもたらすと信じております。

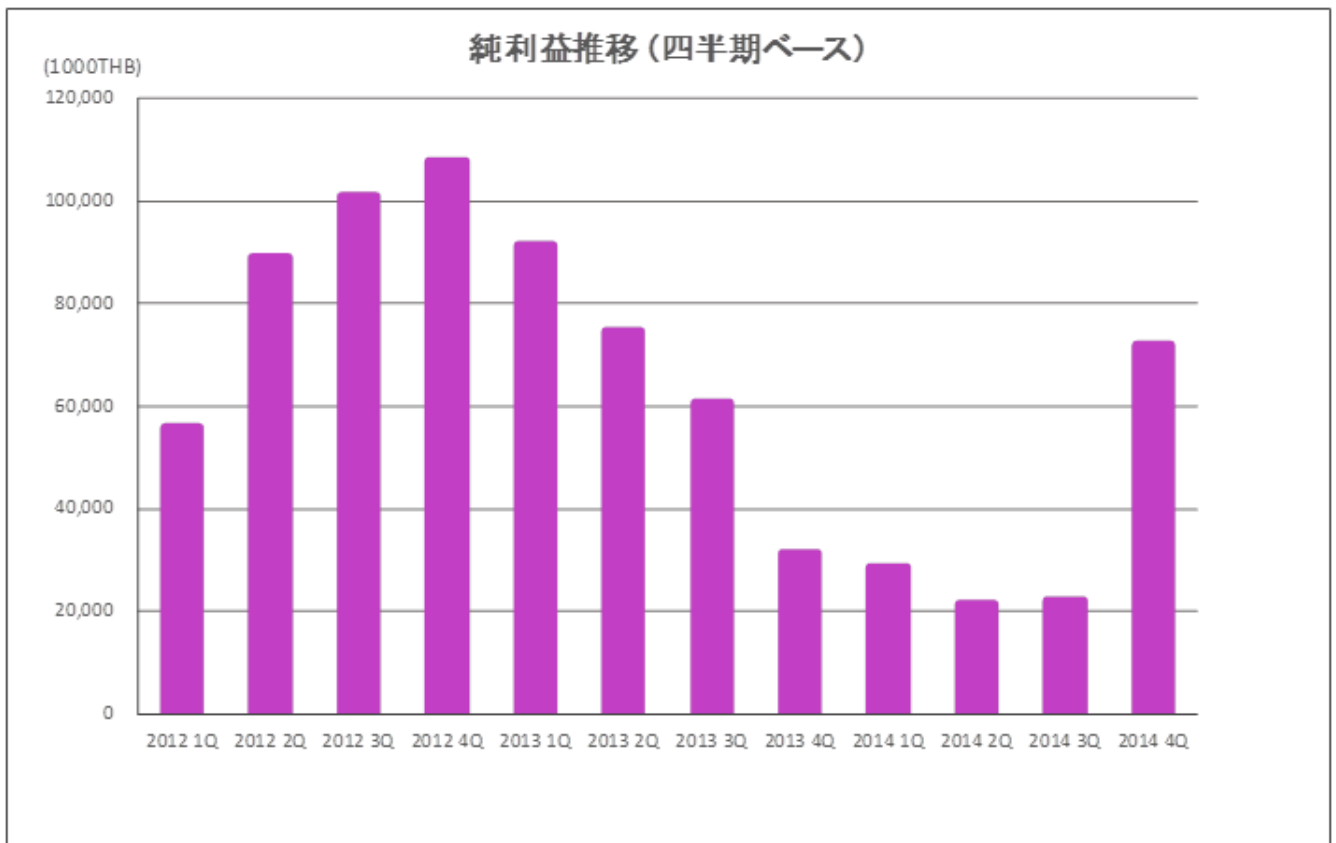
質問 新聞によれば第3四半期あたりにまたM&Aが行われると聞いたが進み具合はどうか？

回答 M&Aは常に志向しており、特にこのたびパートナーとなったJ-Trustグループはインドネシアに銀行を保有しており、これらのつながりからもM&Aが実行していると期待しています。当然多くの投資家が当社の株主になるという申し込みを受けたのですが、J-Trustグループを選びましたのは単に資金を獲得するのではなく、今後のビジネスそのものを拡大する上で最適なパートナーになれると考えたからです。この点を強調しておきたいと思います。

質問 カンボジアにおいてと同じようにラオスでもHONDAとの独占契約を結ぶことはできるのでしょうか？

回答 ラオスにおいてはカンボジアと環境が違うので独占契約を目指しておりません。カンボジアにおいてはHONDAはほぼ独占企業であり、ディーラーもHONDA以外のオートバイを販売しません。しかしラオスでは各ディーラーは幾つものブランドを取り扱うこともあります。そのためラオスにおいては各ディーラーとの独占を獲得しますとともに、圧倒的にディーラー各社に納得していただけるビジネスのシステムでシェアを拡大します。





GL 社は以上のように急速に事業を拡大しており、今回の株主総会でその方向性の堅持ならびにその加速という方針が強く支持される結果となりました。当社といたしましてもこの方針と近年の目覚ましい事業拡大を強く支持しており、当該結果を歓迎するものです。

株主総会の終わりには GL 社 CEO の此下益司氏より、「この数年間、タイ国経済の落ち込みや政治的不安定がありました。また海外展開や大型の買収政策など、当社グループが投資的ステージにあったこともあり、投資的費用が増加しておりました。これらのため利益が低迷しておりました。株主の皆様には心から陳謝致します。

しかしすでに 2014 年最終四半期 (2014 年 10-12 月) には実質的に過去最高の四半期利益を上げましたことに現れておりますように、GL 社の利益はカムバックしました。利益率から言えばまだまだ全速力とは言えませんが、今後全速力に向けて急速にアクセルを踏んで参ります。

ここまでサポートを頂き本当にありがとうございます。来年の株主総会においてはさらに皆様のお顔がハッピーになるように致します。次は第 1 四半期 (2015 年 1-3 月) の結果を開示してからお話ししたいと思います。ご期待ください」との挨拶がありました。

#### GL 社の会社概要

会社名 Group Lease Public Company Limited  
 代表者 代表取締役最高経営責任者 此下 益司  
 事業内容 ファイナンス事業  
 設立 1986 年 5 月  
 所在地 63 Soi Thetsabannimitrai Road Ladyao, Chatuchak, Bangkok, Thailand 10900.  
 TEL. 0-2580-7555 FAX. 0-2954-2902-3  
 E-mail : [glpcl@grouplease.co.th](mailto:glpcl@grouplease.co.th)  
<http://www.grouplease.co.th>

子会社 GL Finance PLC.  
所在地 No. 279-274 Kampuchea krom Blvd, Sangkat Mittapheap Khan 7  
Mkara, Phnom Penh, Combodia